

ピアホームだより

2017. 10. 10

当事者から学ぶ精神障害

障害理解を進める上で、実際の障害に触れることが一番の早道だと思います。私もこの道に入って、今まで目に触れることのなかった障害に日々接することになり、徐々にバリアーが取れてきました。

人は、どうしても見た目により左右されがちです。それは、障害者を一目で区別するため、生物が獲得した遺伝情報なのかもしれません。

そんな生物の本能的な行動があるにしても、大脳を獲得した人間が築きあげて来た社会は、障害を理解し支援をする福祉を持つ社会ではないでしょうか？

出来ないことの方が多くても、それは生命の節理、できることを精いっぱいやるのが人間社会であり、生きる喜びにも繋がります。

情報化社会を迎え、ちょっと意識さえすれば、昔は、専門家しか分からなかった障害情報にも分かりやすく触れることが出来ます。

今回は、私が普段観ているそんなTV、サイトなど挙げて紹介文を引用しますので、興味を持って頂ければと思います。

1 バリバラ (Eテレ)

2012年にスタートとした障害者のための情報バラエティー。笑いの要素を織り交ぜ、これまでタブー視されて来たテーマにも挑んできました。

2016年からは、障害のある人に限らず、「生きづらさ」を抱えるすべてのマイノリティの人達にとっての“バリアー”をなくすために、みんなで考えていきます。

みんなちがってみんないい

多様性のある社会を目指して、バリバラは進化します。

2 ハートネットTV—NHK福祉ポータル

障害や病のある人、悩んでいる人、支える家族や共感する人。現代社会には、さまざまな「生きづらさ」と向き合っている人がいます。そんな「生きづらさ」を抱える全ての方々

のために、ハートネットTVはスタートしました。

3 精神障害福祉サイト

① JPOP—VOICE

体験者、家族の生の声を載せています。また、各専門家からの情報が語られています。

② COMBO(地域精神保健福祉機構)

コンボの使命は、精神障害をもつ人たちが主体的に生きて行くことができる社会のしくみをつくりたい。そのために、私たちは、地域で活動するさまざまな人たちと連携し、科学的に根拠のあるサービスの普及に貢献します。月刊誌「心の元気+」があります。

③ みんなねっと(全国精神保健福祉連合会)

精神に障がいのある方の家族が結成した団体です。わたし達は、精神障がいのある本人と家族が安心して暮らせる社会をめざし、多くの仲間や関係者の方々と支えあい、学びあい、手をつないで目標の実現に努力します。

今月の予定

<10月6日>消防施設点検

<10月7日>新理事森田先生来所

<10月22日>白石先生主催交流会